



## 第3回幹事会報告

12月22日(土)、コロナ感染症防止対策のため、従来に引き続き2部制(前半の一部は会計監査と各専門部員、後半の2部は棟長と防災幹事)による、今年度第3回幹事会が開かれました(幹事総数84名のところ、出席数32名、委任状25名で会は成立)。

議事内容としては、事務局、各専門部、会計、防災隊の10月~12月の活動報告があり、その後質疑応答を経て議事は承認されました。

主な報告内容としては、防犯交通部からは12月より自転車置き場の調査・整備を開始し、各バースの状況、シールの有無、放置自転車等を調査していくこと。環境衛生部からは、ボタン電池に関して再掲示を行ったこと、各棟のゴミ集積場で使用するトンブを購入したこと等が報告されました。

主な質疑の内容としては、秋の防災訓練では防災幹事が保管する地下室(電気室)の鍵を一旦エレベーターのインターフォン箱に置いたが、悪戯等のリスク防止のため、すべて自治会事務所に置くことになりました。第3期の棟(12号棟~14号棟)については、電気室の鍵ではないが屋上への鍵を兼ねるため、管理組合と協議した結果、同様の対応となりました。しかし、棟長が所有する鍵については、今まで通りの棟長保管とします。また、管理事務所の受付時間外(休日等)に第一集会所を利用する場合についての質問に対しては、外扉の施錠とセキュリティロックを確実に行えば、問題なく利用できることが確認されました。

<自治会長 塚本>

## 展示のご案内

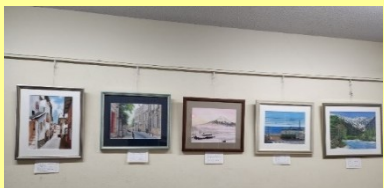
ドリームフェスタ代替えとしてスタートした

第一集会所廊下壁スペースでの展示は二月で一年を迎えました。出展に際してご協力いただいた皆様、出展参加の方ありがとうございました。

“いろいろな作品を観てみたい”という声のもと引き続き作品出展のお願いです。

写真、書道、折紙、刺繍、タペストリーなどお手持ちの作品がございましたら自治会事務所へご連絡ください。皆様の出展をおまちしています。

<文化青少年部 斎藤>



## 「防犯パトロールについて」

今年度もボランティアの方々、幹事の皆様、自治会役員で、防犯パトロールに取り組んでまいりました。毎月5回ほど、主に、ゴミ置き場、駐輪場、構内の一時置き駐車場などを確認しながら、県ハイツ内一周45分ほどかけパトロールをしてまいりました。おかげさまで、大きな問題もなく、ハイツ内の美化や安全が、保たれている状態となっております。暑い日も、寒い日も、ご協力いただき、本当にありがとうございました。(酷暑の時期は、熱中症等の危険を避けるため日中は、お休みさせていただきました。)

今年度は、残すところ、あと4月までとなり、5月から、新しい幹事の皆様や役員と交代となります。引き続き来年度も、ハイツの美化安全を守れるよう配慮していきたいと考えておりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<防犯交通部>



# ごみ出しのルール守れていますか

## ごみ置き場だより

〈環境衛生部〉

☆アルミ缶とスチール缶が分別されていません。

横浜市の収集はアルミ缶とスチール缶はまとめてですが、ドリームハイツでは出し方が異なります。

アルミ缶は分別し専用かごに。集団回収で資源物収益金を得ています。

☆紙ごみ（古紙）が散乱しています。

品目ごとに纏めてください。（紙紐・ビニール紐・紙袋・ビニール袋）。

☆ペットボトルに中身が残っていないように、軽くゆすいでください。

キャップ、ラベルは外してプラスチック製容器包装で出してください（火曜日に回収しています）。

☆カラスが狙っています・・・ごみが早出しされてカラスが散乱させています。決まった日にしっかり網の中に入れましょう。

**古紙 (紙類)**

- 紙ひも・ビニールひもなどでしばってください（ガムテープは使用できません）
- 雨天時でも出せます

包装紙、お菓子の外箱、カレー・シチューの外箱、メモ用紙、シュレッダーにかけた紙など

●新聞紙 折込広告のちらしも一緒に出せます

●段ボール アルミコーティングされたものや、段ボールについている粘着テープは燃やすごみへ

●雑誌・その他の紙 その他の紙は、中身が出ないよう、紙袋などに入れてください

●紙バック 水洗いし、乾燥させてから、大きさをそろえてしばってください

●裏側がアルミコーティングされたものは燃やすごみへ

## ドリームハイツで「SDGs」を考えましょう

- ・「エス・ディ・ジーズ」と読みます
- ・日本語では「持続可能な開発目標」と訳されています
- ・道しるべとして17の目標を示しています
- ・SDGsの取り組みと聞くとハードルが高いように感じますが身近なところから始めたいと思います
- ・環境衛生部では17の目標の内、目標12「つくる責任つかう責任」に関わっていきましょう。
- ・最初に分別をしましょう
- ・資源ごみを分別し、効率的な回収をして地球資源の節約をしましょう



資源物のゆくえ (古紙)

資源物のゆくえ (古布)

プレスして運ばれます。

古紙繊維を溶解し、異物除去、脱墨、漂白工程を経て、古紙パルプになります。

紙すき、脱水、乾燥工程後、ロール状に巻き上げます。

品目により次のように再生利用されます。

- 新聞 → 新聞、週刊誌など
- 雑誌・その他の紙 → ボール紙、絵本など
- 紙バック → トイレ用ペーパーなど
- 段ボール → 段ボール箱、紙筒など

プレスして運ばれます。

素材・長さ・色別に選別されます。

用途によって次のように再利用されます。

- 国内外で中古衣類として使用。
- 機械の油拭きなどに使用する「ウエス」として使用。
- 原料の綿などに戻し、クッション材や断熱材として使用。

## 春の防災訓練

3月5日（日）10時から行います。

今回も三密を回避するために集合訓練は行いませんが、安否確認訓練、汚水排水管破断確認訓練、ライフライン欠如訓練は実施します。是非とも参加をお願いします。

訓練の前には必ず班会議を行い、安否確認訓練には「避難済み」のマグネット札を使用すること、また汚水排水管破断確認訓練には、予めマンホールや色水、フックなどを確認してください。

コロナ禍で、居住者同士が交流する機会が少なくなっています。防災訓練のため近隣の方と顔合わせすることにより、頼みごとができたりする関係もでき、いざという時の共助の力が自然に高められるのではないのでしょうか。

## 資源物売却報告 〈会計より〉

11月（10月回収資源物分） 発生量：kg 売却金：円						
品種	ダンボール	新聞	雑誌	ミルクカートン	古布	アルミ缶
発生量	1,950	1,160	5,140	40	1,010	360
売却金						3,600
12月（11月回収資源物分）						
発生量	2,560	1,550	6,240	40	700	410
売却金						4,100

## 編集後記

トルコで起きた大地震災害。救助はプロの方達ですが、周りで難を逃れた近隣住民の支援もあると思います。自助で困難の場合は、やはり、近くの方達の共助の力です。コロナ禍で、交流できるイベントが無くなり、時あたかも防災訓練は、自助・共助を意識できる打って付けの機会だと思います。

また、生活に身近なごみ問題はこのままでは解決されません。そこで、環境衛生部の方から、意識改革し、これまでとは違った手法で取り組みたいと発案がありました。【目標を設定できる地球規模の課題「SDGs」をドリームハイツで考えましょう】と。“言葉は聞いたことがあるけど”の方達が多いと思います。今回は初回なので、言葉だけでも知ってもらえたらと思っています。少しずつ広めてもらいましょう。

〈広報部〉